



5 遊びや体験がキーワード！

夏休み期間中の20日間、小学生児童を対象にした『遊びの学校』が開設されました。

これは大崎町児童健全育成事業助成を受け『NPO法人わんぱーく』が大崎小学校を会場に実施したもので、町内の児童43名の申し込みがあり、常時30人が参加しました。

遊びの学校では、自然学習、製作活動（水ロケット、ごむ銃、竹笛、風車など）、野菜ソムリエを講師に招いた料理教室など『遊びや体験』をキーワードにした様々なプログラムが実施されました。

6 七夕剣道大会！

8月20日（土）、大崎町総合体育館において、『大崎町七夕剣道大会』が開催されました。毎年、旧暦の七夕に行われるこの歴史ある剣道大会は、今年で36回目。町内外から99チーム、300名の参加があり、小学校低学年から中学生までの剣士たちが、日頃の稽古の成果を発揮し、白熱した戦いを繰り広げました。

4 夏休みキッズセミナー！

大崎ものづくり会館内に開所した『鹿児島大学大崎活性化センター』において、子ども達の夏休みの自由研究をサポートしようとキッズセミナーが開かれました。

野方公民分館が主催し、8月16日から3日間にわたり小中学生80名が参加しました。

17日に参加した小学校低学年25名は、自然をテーマにしたセミナーを受けました。

子ども達といっしょに近くの民家の庭から採取した、モクレンやホオなどの植物を観察しました。

その後、インドネシアデポック市の小学生とインターネット回線を利用したテレビ電話でお互い採取した葉っぱを見せながら交流しました。

鹿児島大学大学院理工学研究科小原幸三教授は、「すぐ近くにたくさんの植物がある。わからない品種を調べてみたり、普段から自然に興味を持ってほしい。」と子ども達に語りかけました。